

平成23年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年4月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社IGポート  
 コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川光久  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員 (氏名) 中野広之

TEL 0422-53-0257

四半期報告書提出予定日 平成23年4月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年5月期第3四半期の連結業績(平成22年6月1日～平成23年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第3四半期	3,467	△25.2	74	—	91	—	210	—
22年5月期第3四半期	4,636	△13.1	△192	—	△186	—	△272	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第3四半期	4,406.30	—
22年5月期第3四半期	△5,698.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第3四半期	6,154	3,990	64.8	83,568.05
22年5月期	5,975	3,779	63.3	79,158.91

(参考) 自己資本 23年5月期第3四半期 3,990百万円 22年5月期 3,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年5月期	—	0.00	—	—	—
23年5月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,127	△14.4	27	—	46	—	95	—	1,989.61

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年5月期3Q 48,952株 22年5月期 48,952株

② 期末自己株式数 23年5月期3Q 1,204株 22年5月期 1,204株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年5月期3Q 47,748株 22年5月期3Q 47,748株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(第 3 四半期連結累計期間) .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア地域を中心とする新興国による海外経済の持ち直しにより、一部の企業業績には回復の兆しが見られたものの、雇用情勢や所得環境の回復がみられず個人消費は低迷を続け、また、中東や北アフリカでの政変の広がりにより、地政学リスクの高まりや原油の高騰等、先行き不透明な状況が続いています。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売及び電子コミックスで課金を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,467,492千円(前年同期比25.2%減)、経常利益は91,623千円(前年同期は186,220千円の経常損失)、四半期純利益は210,391千円(前年同期は272,068千円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、劇場用アニメーション「ブレイク ブレイド」「攻殻機動隊 S.A.C. SOLID STATE SOCIETY 3D」等、テレビ用アニメーション「戦国BASARA弐」「えむえむっ!」「もっとTo LOVEる -とらぶる-」「君に届け 2ND SEASON」「はなかつぱ」「もしドラ～もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら～」等、ビデオ用アニメーション、その他ゲーム用・CM映像等を制作いたしました。

以上により、当事業の売上高は2,141,406千円(前年同期比36.0%減)、営業利益は5,780千円(前年同期比32.7%減)となりました。

#### ② 出版事業

出版事業におきましては、新刊は、月刊誌「コミックブレイド」「コミックアヴァルス」、コミックス「flat」「あまんちゅ」「PEACE MAKER 鐵」最新刊等、定期月刊誌18点並びに新刊コミックス79点を刊行しました。また、既刊の「flat」「あまんちゅ」は、特に販売好調でありました。なお、ウェブ雑誌であるEDEN(Yahoo!コミック内)及びケータイ配信向けに描き下ろしで連載された作品のコミックス及び書籍の刊行は計16点となり、現在、ケータイ配信を含む有料課金での電子配信をおこなっている作品は120点となります。

以上により、当事業の売上高は857,581千円(前年同期比7.5%増)、営業損失は42,268千円(前年同期は34,289千円の営業損失)となりました。

#### ③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「東のエデン」「テイルズ オブ ヴェスペリア ～The First Strike～」 「機動戦艦ナデシコ」「テニスの王子様シリーズ」「攻殻機動隊S.A.C.シリーズ」「ARIAシリーズ」等の二次利用による収益分配を計上しました。

以上により、当事業の売上高は396,755千円(前年同期比8.9%減)、営業利益は185,760千円(前年同期比98.7%増)となりました。

#### ④ その他事業

その他事業につきましては、雑誌等のイラストやキャラクターの商品化等により、当事業の売上高は71,749千円(前年同期比23.0%増)、営業損失は5,118千円(前年同期は6,780千円の営業利益)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ179,510千円増加し6,154,952千円となりました。主な要因は建物及び構築物が167,046千円、現金及び預金が120,593千円増加し、一方、受取手形及び売掛金が164,559千円、建設仮勘定が35,605千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ31,016千円減少して2,164,745千円となりました。主な要因は前受金が168,139千円増加し、一方、短期借入金150,000千円、長期借入金が29,997千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ210,527千円増加して3,990,207千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ123,624千円増加し、1,772,916千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、619,388千円(前年同期は425,991千円の増加)となりました。これは主に売上債権の減少が258,416千円、減価償却費の増加が191,292千円、前受金の増加が168,139千円となり、一方、貸倒引当金の減少が138,188千円、前渡金の増加が70,245千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、313,316千円(前年同期は770,219千円の減少)となりました。これは主に映像マスターや建物及び構築物等の有形固定資産の取得による支出が303,923千円、投資有価証券の取得による支出が49,996千円となり、一方、保険積立金の払戻による収入が27,004千円、差入保証金の回収による収入が17,039千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、182,421千円(前年同期は378,695千円の増加)となりました。これは主に短期借入金の純減少額が150,000千円、長期借入金返済による支出が29,997千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月期の業績予想につきましては、平成23年3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」による業績に与える影響は軽微であると見込んでおり、平成22年11月1日に公表しました通期連結業績予想(売上高5,127百万円、営業利益27百万円、経常利益46百万円、当期純利益95百万円)を変更しておりません。今後、業況を注視し、修正が必要になった場合には速やかに開示いたします。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、出版事業の実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを使用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを使用方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は1,607千円減少し、税金等調整前四半期純利益は9,766千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は22,905千円であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第 3 四半期連結会計期間末 (平成23年 2 月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 5 月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,783,009	1,662,416
受取手形及び売掛金	879,066	1,043,626
商品及び製品	59,837	81,248
仕掛品	766,035	714,989
貯蔵品	3,320	3,142
前渡金	92,925	22,680
繰延税金資産	6,771	11,785
その他	42,766	50,563
貸倒引当金	△2,782	△10,364
流動資産合計	3,630,950	3,580,087
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	902,725	735,679
土地	838,506	838,506
映像マスター (純額)	139,810	118,786
建設仮勘定	—	35,605
その他 (純額)	57,785	52,736
有形固定資産合計	1,938,827	1,781,314
無形固定資産		
のれん	178,526	198,550
その他	17,040	25,730
無形固定資産合計	195,567	224,281
投資その他の資産		
投資有価証券	126,879	126,743
その他	292,361	423,254
貸倒引当金	△29,634	△160,240
投資その他の資産合計	389,606	389,757
固定資産合計	2,524,001	2,395,353
資産合計	6,154,952	5,975,441

(単位：千円)

	当第 3 四半期連結会計期間末 (平成23年 2 月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 5 月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	465,983	452,787
短期借入金	300,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
未払金	127,200	142,656
未払法人税等	7,179	11,788
前受金	630,143	462,004
賞与引当金	3,268	1,526
返品調整引当金	43,500	58,000
受注損失引当金	55,658	—
その他	123,338	198,686
流動負債合計	1,796,266	1,817,445
固定負債		
長期借入金	309,175	339,172
退職給付引当金	34,759	36,538
その他	24,544	2,605
固定負債合計	368,478	378,315
負債合計	2,164,745	2,195,761
純資産の部		
株主資本		
資本金	701,400	701,400
資本剰余金	1,842,569	1,842,569
利益剰余金	1,519,298	1,308,907
自己株式	△72,870	△72,870
株主資本合計	3,990,397	3,780,006
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△190	△326
評価・換算差額等合計	△190	△326
純資産合計	3,990,207	3,779,679
負債純資産合計	6,154,952	5,975,441

(2) 四半期連結損益計算書  
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年 6 月 1 日 至 平成22年 2 月 28 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 6 月 1 日 至 平成23年 2 月 28 日)
売上高	4,636,280	3,467,492
売上原価	4,251,072	2,880,241
売上総利益	385,207	587,250
返品調整引当金戻入額	23,000	14,500
差引売上総利益	408,207	601,750
販売費及び一般管理費	600,407	527,033
営業利益又は営業損失(△)	△192,199	74,716
営業外収益		
受取利息	1,141	1,331
受取賃貸料	71,892	26,064
その他	15,271	12,284
営業外収益合計	88,305	39,681
営業外費用		
支払利息	4,277	6,119
為替差損	2,080	926
投資事業組合運用損	75,966	—
賃貸収入原価	—	15,727
その他	2	1
営業外費用合計	82,327	22,774
経常利益又は経常損失(△)	△186,220	91,623
特別利益		
固定資産売却益	82	—
貸倒引当金戻入額	—	138,188
保険差益	—	13,702
特別利益合計	82	151,891
特別損失		
固定資産売却損	348	326
固定資産除却損	616	57
事務所移転費用	—	7,261
事務所移転費用引当金繰入額	7,565	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	8,158
その他	50	—
特別損失合計	8,579	15,804
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△194,718	227,709
法人税、住民税及び事業税	10,752	7,790
法人税等調整額	66,598	9,527
法人税等合計	77,350	17,317
少数株主損益調整前四半期純利益	—	210,391
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△272,068	210,391

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△194,718	227,709
減価償却費	298,857	191,292
長期前払費用償却額	1,913	1,649
のれん償却額	20,023	20,023
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,054	△138,188
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△23,000	△14,500
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	1,366	4,434
賞与引当金の増減額 (△は減少)	17,737	1,741
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,760	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,013	△1,779
受取利息及び受取配当金	△1,153	△1,337
為替差損益 (△は益)	16	24
支払利息	4,277	6,119
固定資産売却損益 (△は益)	266	326
固定資産除却損	616	57
保険差益	—	△13,702
投資事業組合運用損益 (△は益)	75,966	△3,653
売上債権の増減額 (△は増加)	325,722	258,416
たな卸資産の増減額 (△は増加)	244,242	△29,812
仕入債務の増減額 (△は減少)	△148,899	13,195
未払金の増減額 (△は減少)	△253,341	12,282
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	8,158
前受金の増減額 (△は減少)	△346,107	168,139
前渡金の増減額 (△は増加)	200,315	△70,245
未収消費税等の増減額 (△は増加)	55,483	12,058
未払消費税等の増減額 (△は減少)	15,702	△15,224
その他	△35,512	△2,615
小計	261,082	634,570
利息及び配当金の受取額	562	1,337
利息の支払額	△4,229	△4,767
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	168,576	△11,752
営業活動によるキャッシュ・フロー	425,991	619,388

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年 6 月 1 日 至 平成22年 2 月 28 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 6 月 1 日 至 平成23年 2 月 28 日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△13,124	—
定期預金の払戻による収入	13,091	3,030
有形固定資産の取得による支出	△756,130	△303,923
有形固定資産の売却による収入	—	75
無形固定資産の取得による支出	△5,541	△2,493
投資有価証券の取得による支出	—	△49,996
出資金の払込による支出	△5,000	—
保険積立金の積立による支出	△3,415	△4,505
保険積立金の払戻による収入	—	27,004
差入保証金の回収による収入	—	17,039
その他	△98	449
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△770,219</b>	<b>△313,316</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△150,000
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△10,833	△29,997
自己株式の取得による支出	△181	△145
配当金の支払額	△9,292	△83
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△2,196
その他	△998	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>378,695</b>	<b>△182,421</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△16</b>	<b>△24</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	34,451	123,624
現金及び現金同等物の期首残高	1,582,510	1,649,291
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,616,961	1,772,916

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第 3 四半期連結累計期間 ( 自 平成21年 6 月 1 日 至 平成22年 2 月28日 )

	映像制作 事業 (千円)	出版事業 (千円)	著作権事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	3,344,497	797,710	435,741	58,331	4,636,280	—	4,636,280
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,344,497	797,710	435,741	58,331	4,636,280	—	4,636,280
営業利益又は営業損失 (△)	8,584	△34,289	93,484	6,780	74,559	△266,759	△192,199

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な製品

- (1) 映像制作事業……劇場アニメ、TV・ビデオアニメ、ゲームムービーその他。
- (2) 出版事業………コミック誌、コミックス等。
- (3) 著作権事業………印税、分配、窓口手数料等。
- (4) その他事業………ゲームソフト、音楽・映像ソフト、イラスト、キャラクター商品販売等。

〔所在地別セグメント情報〕

前第 3 四半期連結累計期間 ( 自 平成21年 6 月 1 日 至 平成22年 2 月28日 )

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第 3 四半期連結累計期間 ( 自 平成21年 6 月 1 日 至 平成22年 2 月28日 )

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、映像制作事業、出版事業、著作権事業の各事業単位で包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

当社は事業別セグメントから構成されており、「映像制作事業」「出版事業」及び「著作権事業」の3つを報告セグメントとしております。

「映像制作事業」は、劇場アニメ、TV・ビデオアニメ、ゲームムービー等の企画・制作を行っています。

「出版事業」はコミック誌、コミックス等の、企画・製造・販売を行っています。「著作権事業」は、出資による印税、分配、窓口手数料等を得ております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成23年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,141,406	857,581	396,755	3,395,742	71,749	3,467,492
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,141,406	857,581	396,755	3,395,742	71,749	3,467,492
セグメント利益又はセグメント損失(△)	5,780	△42,268	185,760	149,272	△5,118	144,153

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

当第3四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成23年2月28日)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	149,272
「その他」の区分の利益	△5,118
のれんの消去額	△20,023
全社費用(注)	△49,412
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	74,716

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売管理費及び一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。